

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
320294	X-21-B-1-320294	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	2年
英語 2cA/メディア英語 2A				佐野 靖法	【1-3年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
					【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

英語が教育機関で学ぶ教科の一つである前に言語であることを再認識し、歌と映画を素材に使いながらリスニングと発話の練習する。授業内外の学習経験を通して「違い」や「多様性」を意識し始めるようになることを目指す。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 この講座で何をどの様に学ぶのか？：講座目的の確認と具体的な内容や学習方法等についての説明。 【前・後】 復習（30分以上）：授業内容の確認</p> <p>第2回 【授】 Yesterday (by The Beatles) 【前・後】 予習（1時間）：歌の内容・背景+プレゼン企画書準備 復習（30分）歌の練習</p> <p>第3回 【授】 Here Comes the Sun (by The Beatles) 【前・後】 予習（1時間）：歌の内容・背景+プレゼン企画書準備 復習（30分）歌の練習</p> <p>第4回 【授】 The Long and Winding Road (by The Beatles) 【前・後】 予習（1時間）：歌の内容・背景+プレゼン企画書準備 復習（30分）歌の練習</p> <p>第5回 【授】 Let It Be (by the Beatles) 【前・後】 予習（1時間）：歌の内容・背景+プレゼン企画書準備 復習（30分）歌の練習</p> <p>第6回 【授】 I Want to Hold Your Hand (By the Beatles) 【前・後】 予習（1時間）：歌の内容・背景+プレゼン企画書準備 復習（30分）歌の練習</p> <p>第7回 【授】 A Hard Days Night (By The Beatles) 【前・後】 予習（1時間）：歌の内容・背景+プレゼン企画書準備 復習（30分）歌の練習</p> <p>第8回 【授】 Help! (By The Beatles) 【前・後】 予習（1時間）：歌の内容・背景+プレゼン企画書準備 復習（30分）歌の練習</p>	<p>第9回 【授】 Ob-La-Di Ob-La-Da (by The Beatles)  プレゼンの企画書の提出日！ 【前・後】 予習（1時間）：歌の内容・背景 復習（30分）歌の練習</p> <p>第10回 【授】 Yesterday (2019) 【前・後】 予習（1時間）：セリフの内容・背景 復習（30分）セリフの練習</p> <p>第11回 【授】 Yesterday (2019) 【前・後】 予習（1時間）：セリフの内容・背景 復習（30分）セリフの練習</p> <p>第12回 【授】 Yesterday (2019) 【前・後】 予習（1時間）：セリフの内容・背景 復習（30分）セリフの練習</p> <p>第13回 【授】 Yesterday (2019) 【前・後】 予習（1時間）：セリフの内容・背景 復習（30分）セリフの練習</p> <p>第14回 【授】 Yesterday (2019) 【前・後】 予習（1時間）：セリフの内容・背景 復習（30分）セリフの練習</p> <p>第15回 【授】 Yesterday (2019) 【前・後】 予習（1時間以上）：プレゼンの準備 復習（30分）セリフの練習</p> <p>第16回 【授】 Group Presentation</p>
--	---

成績評価方法

- ・授業態度・授業への参加（40%）、授業内レポート（20%）、成果発表（40%）を合わせた総合的な評価を成績とする。
- ・毎回の授業用に歌詞や取り上げるセリフ内容を予習のための資料として配布します。
- ・また後期試験はプレゼンテーション形式とし、そのための企画書を授業内レポートとして第9回目の授業で提出してもらいます。
- ・成果発表後に口頭でフィードバックを伝える。

教科書・参考書

現時点（2020年3月4日）において使用の予定はありません

受講に当たっての留意事項

毎回の授業はグループディスカッションを中心に進めるので、出席者が予習済みであることが前提となります。また、復習は知識を定着させるための大事な学習過程です。以上の理由から、授業の予習・復習は必ず行うこと。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
○	英語講師として学生・社会人向けの英語学習講座をデザインした経験を活かし、リスニングスキル向上のための練習を中心に授業を行う。	○

学習到達目標

リスニング・発話の練習を通して、口語表現を身に付け多様性に対する意識を高める。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
320294	X-21-B-1-320294	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	2年
英語 2cB/メディア英語 2B	内田 朗子			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	
<b>授業目的</b>								
This class is designed for the intermediate-to-advanced level students to develop their English skills through current news.								
<b>各回の授業内容</b>								
<b>第1回</b> 【授】 Introduction 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review <b>第2回</b> 【授】 News 1 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review <b>第3回</b> 【授】 Quiz 1 News 1 workshop 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review <b>第4回</b> 【授】 Quiz 2 News 2 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review <b>第5回</b> 【授】 Quiz 3 News 2 workshop 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review <b>第6回</b> 【授】 Quiz 4 News 3 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review <b>第7回</b> 【授】 Quiz 5 News 3 workshop 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review <b>第8回</b> 【授】 Midterm Exam 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review				<b>第9回</b> 【授】 News 4 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review <b>第10回</b> 【授】 Quiz 6 News 4 workshop 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review <b>第11回</b> 【授】 Quiz 7 News 5 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review <b>第12回</b> 【授】 Quiz 8 News 5 workshop 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review <b>第13回</b> 【授】 Quiz 9 Preparation for the presentation (1) 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review <b>第14回</b> 【授】 Quiz 10 Preparation for the presentation (2) 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review <b>第15回</b> 【授】 Presentations 【前・後】 1.5 hrs per week for preparation/review <b>第16回</b> 【授】 Final Exam				
<b>成績評価方法</b>								
Exams and presentations [60%]; Quizzes [20%]; Class contribution [20%] *Quizzes will be marked during the class. *Comments, references, and other materials will be uploaded on the portal site if needed.								
<b>教科書・参考書</b>								
<b>受講に当たっての留意事項</b>								
実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施	
○	海外留学・在住経験を持つ教員が実用的な英語力の習得をサポートする。						○	
<b>学習到達目標</b>								
Upon successful completion of this course, students will be able to: -be familiar with current topics in English -recognize the various terminologies used in news articles -express their opinions regarding the topics mentioned in class using appropriate terminologies -make a presentation on a chosen topic								
JABEE								

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320294	X-21-B-1-320294	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	2年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
英語 2cC/メディア英語 2C	山崎 祥子			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
<b>授業目的</b>							
英語によるニュースを通して情報のインプット及びアウトプットするのに必要な語彙・語法・文法を身につけることを目指しながら、高度な英語運用力とともに社会のさまざまな課題への問題意識を高める。							
<b>各回の授業内容</b>							
<b>第1回</b> 【授】 Introduction 【前・後】 予習復習に1時間。ざっとテキストに目を通し、コース全体のアウトラインをつかんで学習の仕方を考える。 次回の授業で取り上げる箇所の問題をあらかじめ解答しておくこと。				<b>第9回</b> 【授】 Unit 8 Health care system could collapse if elderly people's contributions not doubled: insurance official (health 1) 【前・後】 予習復習に1時間。授業中に学習したテキストの該当箇所を復習し小テストに備える。 また次回の授業で取り上げる箇所の問題をあらかじめ解答しておくこと。			
<b>第2回</b> 【授】 Unit 1 Japan Post to start test deliveries using drones (science 1) 【前・後】 予習復習に1時間。授業中に学習したテキストの該当箇所を復習し小テストに備える。 また次回の授業で取り上げる箇所の問題をあらかじめ解答しておくこと。				<b>第10回</b> 【授】 Unit 9 Glue sold over counter cheapest way to cultivate stem cells (science 3) Pair or Group Discussion 【前・後】 予習復習に1時間。授業中に学習したテキストの該当箇所を復習し小テストに備える。 また次回の授業で取り上げる箇所の問題をあらかじめ解答しておくこと。			
<b>第3回</b> 【授】 Unit 2 Toyosu market reels in 40,000 visitors on first public day (society 1) 【前・後】 予習復習に1時間。授業中に学習したテキストの該当箇所を復習し小テストに備える。 また次回の授業で取り上げる箇所の問題をあらかじめ解答しておくこと。				<b>第11回</b> 【授】 Unit 10 Planet-Warming Gases Make Some Food Less Nutritious, Study Says (environment 2) 【前・後】 予習復習に1時間。授業中に学習したテキストの該当箇所を復習し小テストに備える。 また次回の授業で取り上げる箇所の問題をあらかじめ解答しておくこと。			
<b>第4回</b> 【授】 Unit 3 Foreign cooks flocking to Japanese culinary schools amid boom in cuisine's global popularity (culture 1) Pair or Group Discussion 【前・後】 予習復習に1時間。授業中に学習したテキストの該当箇所を復習し小テストに備える。 また次回の授業で取り上げる箇所の問題をあらかじめ解答しておくこと。				<b>第12回</b> 【授】 Unit 11 Therapy dogs giving comfort at dementia café in Tochigi (health 2) 【前・後】 予習復習に1時間。授業中に学習したテキストの該当箇所を復習し小テストに備える。 また次回の授業で取り上げる箇所の問題をあらかじめ解答しておくこと。			
<b>第5回</b> 【授】 Unit 4 Solar-powered Flower Bed Automatically Waters Plants: Panasonic adds mist generator (science 2) 【前・後】 予習復習に1時間。授業中に学習したテキストの該当箇所を復習し小テストに備える。 また次回の授業で取り上げる箇所の問題をあらかじめ解答しておくこと。				<b>第13回</b> 【授】 Unit 12 More home appliances for pets hitting store shelves (life 2) Pair or Group Discussion 【前・後】 予習復習に1時間。授業中に学習したテキストの該当箇所を復習し小テストに備える。 また次回の授業で取り上げる箇所の問題をあらかじめ解答しておくこと。			
<b>第6回</b> 【授】 Unit 5 Facial looks top priority for Japanese in cosmetic surgery (society 2) 【前・後】 予習復習に1時間。授業中に学習したテキストの該当箇所を復習し小テストに備える。 また次回の授業で取り上げる箇所の問題をあらかじめ解答しておくこと。				<b>第14回</b> 【授】 Unit 13 DISCOVER ANIME / Reverse phenomenon of 'Radiant (culture 2)' 【前・後】 予習復習に1時間。授業中に学習したテキストの該当箇所を復習し小テストに備える。 また次回の授業で取り上げる箇所の問題をあらかじめ解答しておくこと。			
<b>第7回</b> 【授】 Unit 6 Oita Prefecture temple holding study meeting on Islam to spread understanding (life 1) Pair or Group Discussion 【前・後】 予習復習に1時間。授業中に学習したテキストの該当箇所を復習し小テストに備える。 また次回の授業で取り上げる箇所の問題をあらかじめ解答しておくこと。				<b>第15回</b> 【授】 Unit 14 JET Programme Voices / Multicultural symbiosis (life 3) 【前・後】 予習復習に1時間。授業中に学習したテキストの該当箇所を復習したり、期末試験に向けて弱点補強したりする。			
<b>第8回</b> 【授】 Unit 7 Tiny organism that eats plastic spawns race to tap its secrets (environment 1) 【前・後】 予習復習に1時間。授業中に学習したテキストの該当箇所を復習し小テストに備える。 また次回の授業で取り上げる箇所の問題をあらかじめ解答しておくこと。				<b>第16回</b> 【授】 Final Examination 【前・後】 これまで習ったことを復習し、期末試験に備える。			
<b>成績評価方法</b>							
【成績評価】 期末試験の点数 (40%)、課題への取り組み (20%)、小テスト (15%)、スピーキングテストの点数 (15%)、授業参加状況 (10%) を合わせて総合的に評価する。 【フィードバックの方法】 小テストとスピーキングテストを採点して返却し、講評する。							
<b>教科書・参考書</b>							
日本メディア英語学会、英語教育・メディア研究分科会 編著 Develop Four Skills through English News (三修社)							
<b>受講に当たっての留意事項</b>							
授業で行う Unit の問題を事前に解いてくること。 英語辞書を持参すること。 遅刻2回で欠席1回とする。欠席5回で定期試験の受験資格喪失。							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表 等)の実施
×							○
<b>学習到達目標</b>							
英語のニュースを文字や音声で正確に理解することができる。ニュースから学んだ表現を用いて社会的な事柄について自分の意見を書いたり話したりできる。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320294	X-21-B-1-320294	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	2年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
英語 2cD / メディア英語 2D	大竹 芳夫			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
<b>授業目的</b>							
<p>アメリカのメディア CNN のショートニュースを収録する英語教材を活用し、メディア英語の読解力、語彙力、表現力を高めるとともに、テキストの音声 CD を活用してシャドーイングを実践しながらリスニング能力の向上も目指します。TOEIC や TOEFL のスコア向上に役立つリスニングや文法のポイントなども学びます。また、日常生活を場面ごとに取り上げる DVD 教材を活用し、英語音声の特徴に留意しながらスピーキング能力も高めます。本学部のディプロマポリシーである「高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄ます」という卒業までに達成すべき学習基本目標を念頭におきながら英語を学びます。</p>							
<b>各回の授業内容</b>							
<p><b>第1回</b> 【授】 オリエンテーション：教材の特徴・意義と使用方法、授業の進め方、評価方法などについて 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p><b>第2回</b> 【授】 Unit 1: "Super-aged" Societies + DVD 教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p><b>第3回</b> 【授】 Unit 2: Toward Living on the Moon + DVD 教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p><b>第4回</b> 【授】 Unit 3: Dangerous Proposal + DVD 教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p><b>第5回</b> 【授】 Unit 4: Automation Threatens Jobs + DVD 教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p><b>第6回</b> 【授】 Unit 5: Harvard Accused of Racial Bias + DVD 教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p><b>第7回</b> 【授】 第2週から6週までのまとめ、効果的な英語学習について + DVD 教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p><b>第8回</b> 【授】 Unit 6: Thought-Controlled Artificial Arms + DVD 教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p>				<p><b>第9回</b> 【授】 Unit 7: Guide to Modern Manners + DVD 教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p><b>第10回</b> 【授】 Unit 8: Ancient Cave Art in Indonesia + DVD 教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p><b>第11回</b> 【授】 Unit 9: Heat Threat in the Middle East + DVD 教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p><b>第12回</b> 【授】 Unit 10: Growing Impact of Plastic on Sea Birds + DVD 教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p><b>第13回</b> 【授】 Unit 11: China's Life-shortening Air + DVD 教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p><b>第14回</b> 【授】 Unit 12: Prosthetic Limbs from 3-D Printers + DVD 教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p><b>第15回</b> 【授】 Unit 13: NZ Makes Cyberbullying Illegal + DVD 教材に基づく学習 【前・後】 【予習復習に4時間】授業中に学習したテキストの該当箇所を読み直しておくこと。また次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。</p> <p><b>第16回</b> 【授】 テストとその他 【前・後】 【予習復習に4時間】事前に試験範囲を熟読し、試験後は理解不明箇所を再学習し、理解に努める。</p>			
<b>成績評価方法</b>							
<p>【成績評価】 定期試験 80%、適宜行われる小テストと発表内容 20%の割合で評価します。自発的発表報告は内容に応じて加点評価します。 【フィードバックの方法】 発表内容にはコメントによるフィードバックを与え、小テストは点数分布を授業で公表し、全体の講評をすることで学習内容の理解を深めます。</p>							
<b>教科書・参考書</b>							
安浪誠祐, Richard S. Lavin 著, CNN Short News, Vol. 1. (ダウンロード用教材音声有り) 朝日出版社, 定価 1,200 円 + 税) ISBN: 978-4-255-15643-9							
<b>受講に当たっての留意事項</b>							
英和辞典や英英辞典（電子辞書も可）を授業時に持参すること。各回の準備学習の具体的内容については初回授業時に指示します。							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×							×
<b>学習到達目標</b>							
メディア英語教材を活用することで、英語の読解力、語彙力、聴解力、表現力を高めることができる。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習